

足立区都市農業公園ワークシート解説

足立区都市農業公園ワークシートは公園見学の手助けになることを目的に作成しました。レクリエーションや社会科見学の際にご活用ください。ワークシートを利用する場合は安全に見学できるように十分ご注意ください。

●高学年向けワークシート

① この公園では無農薬・無化学肥料で自然にあるものを利用して作物を栽培しています。このような農法を「A.有機農業」といいます。

ビジターセンター内の展示に記載されています。当公園は「農」をテーマにした都市公園で、田畑では無農薬・無化学肥料での栽培に取り組んでいます。安心安全な作物が生産できるだけでなく、田畑にはいろいろな生きものが集まり懐かしい農村の風景を再現しています。

② 古民家の屋根は「A.茅葺き屋根」と言います。

茅葺き屋根に使われる素材「茅」とは「ススキ」「アシ（ヨシ）」「チガヤ」などの総称です。古くは綾瀬川など、川沿いの湿地の「茅場」で刈り取られた茅材でつくられてきました。時代が進んで、茅材を採る茅場と茅葺き職人さんが減り、茅葺き屋根から瓦屋根やトタン屋根に変わっていきました。

③ 公園にもすんでいるシマヘビはどんなものを食べるでしょう？一つ書いてみましょう。

A.ネズミ、小鳥、カエルなど

人と自然の共生館レクチャールームの生体展示キャプションに記載されています。田んぼにカエルが現れる時期にはシマヘビ・アオダイショウ・ヒバカリといったヘビがやってきます。

④ セリの収穫のときに手を温めるのに使われていた道具はなんという名前でしょう？ A.てぶろ

昔の農機具展示室に展示されています。足立区本木付近でセリの収穫時に実際に使用されていた農機具です。金属でできた円筒形の容器が特徴です。実はこれは炉になっていて、この中で炭などを燃やし、桶の中にはった水をお湯にして、かじかむ手を温めていたのです。手風呂という名がそのものずばりの表現です。

⑤ 田んぼや畑で見つけた生きものをできるだけたくさん書いてみよう！

A.その時期に見られる生きもの

四季に合わせて様々な作物を栽培しています。キャベツ、ブロッコリーなどのアブラナ科の作物にはモンシロチョウが集まります。6月～9月頃の田んぼに水が入っている時期には、カエル・ゲンゴロウ・ヤゴなどの生きものも見る事が出来ます。寒い時期でもヒヨドリやスズメなどの鳥類、チョウのサナギ、カマキリの卵などを観察できます。

●低学年向けワークシート

① たんぼにはいろいろないきものがあつまるよ。どんなカエルがいるかな？なまえをかいてみよう。

A.ニホンアマガエル（アマガエル）、もしくはトウキョウダルマガエル

ビジターセンター内の展示（壁面の大きなイラスト）に姿と名前が記載されています。たんぼでは繁殖やエサの虫を食べて暮らしています。6-8月のたんぼでは水中にオタマジャクシを見ることができます。東京都内では年々、生息数が減っているカエル達でもあります。

② こみんかのいりぐちは「A.レンガ」がしかれている。

旧和井田家住宅の特色の一つが、竈や土間、玄関前にあしらわれたレンガにあります。先代の住人（和井田健次郎氏）が煉瓦焼きに深く関わっていたためにこうした意匠が施されています。煉瓦産業は足立の特色の一つでもあり、地域特性が色濃く表れた一面です。

③ ひととしぜんのきょうせいかんでかっているのは「A.クサガメ」

クサガメは荒川にも生息しているカメです。昆虫やエビ、魚、水草などを食べる雑食性の生きものです。農薬を使っていない田畑には虫や鳥などいろいろな生きものが集まり、河川敷からやってきたカメやヘビが見つかることもあります。

④ セリをしゅうかくするためにあしにはくどうぐを「せりつみ A.タンゴ」

昔の農機具展示室に展示されています。足立区の特産品の本木セリは冬の収穫物でした。湿地を好むセリは水を張ったセリ田で栽培します。せりつみタンゴを足に嵌めることで、冷たい水に浸ることなく収穫作業を行うことができます。外観からはちょっと想像しづらい利用方法です。

⑤ たんぼやはたけでみつけたものをたくさんかいてみよう！

A.なんでも OK

植えられている作物やそこに集まる生きものの他にも農機具などいろいろなものを探してみてください。